中学校　第３学年　（学級活動）学習指導案　例

１　題材名　山崎断層による地震「その時」あなたは？

　　　使用教材：『明日に生きる』（高等学校用）p. 14～21

　　　準備物：ワークシート

２　本時について

（１）ねらい

　　災害に応じた安全な避難の仕方を考える活動を通して、多様な他者と協働で避難することの意義や避難を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 子どもの活動 | 教師の支援 | 備考 |
| １　『山崎断層による地震「その時」あなたは？』の想定場面の範読を聞き、地震が起こった時の状況を予想する。  ２　山崎断層による地震を想定し、地震に遭遇した際の行動について考える。  ○ワークシート「考えてみよう(1)」場面①②について考える。  ・隠れる所がない場合、座布団やクッションなどで頭を守る。  ・近くに頭を守る物がない場合、頭から少し離した位置に両手をしっかり組み、後頭部を守る。  ・周りの人に地震が来ることを知らせる。  ○ペアで意見を交流し、考えをまとめる。  ○ワークシート「考えてみよう(2)」場面③の行動について考え、ペアで交流した後、意見をまとめる。  ○ワークシート「考えてみよう(3)」について考える。  　・店内の様子はどのようになっていると考えられるか。  ・避難している買い物客の様子を想像してみましょう。  ・10分後、あなたは何をしていますか。  ・30分後、あなたは何をしていますか。  ３　「『その時』わたしは・・・」を読み、災害時の適切な行動についてまとめる。 | ・山崎断層について地図を用いて説明し、知識の共有を図る。  ・「考えてみよう」に添って、場面ごとの危険を予測し、それを回避するための行動を考えられるようにする。  ・地震時の行動の根拠となる指針を「Shake Out訓練」の安全行動の1-2-3（P.19）を活用し、説明する。  ・意見を集約したり、考える際の視点に活用したりするため、災害時の状況を、「周囲の人々」「活用できる家具・道具」「建物の倒壊の危険性」「考えられる２次災害」に分類し黒板に掲示しておく。  ・激しく突き上げるような揺れが20秒ほど続いたことから、活断層型地震を予測し（P.16）、建物の倒壊と火災が発生する可能性を踏まえた行動が必要であることに気づけるようにする。  ・エレベーターやエスカレーターで地震に遭遇したときの行動（P.19）を踏まえ、人が集まる場所での行動を考えられるようにする。  ・10分後、30分後の「建物の状況」「周りの人々の様子」「火災や倒壊などの２次災害」等、多面的な視点で状況を捉えることにより、付随する問題を考えられるようにする。  ・自分だけの行動だけでなく、環境（パニックからの回避、人が殺到する避難路を回避等）を把握し、適切に判断・行動していくことが命を守ることにつながっていくことに気づけるようにする。 | 『明日に生きる』  ワークシート |